

市町村長の災害対応力強化のための研修

防災課

1 はじめに

市町村長は、災害時にリーダーシップを十分発揮し、災害情報の収集、住民への避難勧告等の発令、応急活動、被災者支援、復旧・復興など、状況に合わせた的確な災害対応を指示していく必要があります。

このため消防庁では、市町村長が、災害の警戒段階から発災後に至る重要な局面で、的確かつ迅速な判断・指示を行えるよう、市町村長の災害対応力の強化のための研修を企画し、今年度初めて開催しました。

本研修は、全国211名もの市町村長から参加申込みを頂きましたが、災害対策本部の設置経験や市町村長としての在任歴等を考慮して、第1回と第2回合わせて50名（各回25名）の市町村長に御受講いただきました。

2 研修概要

【日時】

第1回

平成30年11月14日（水）9:30～12:00

第2回

平成30年11月30日（金）9:30～12:00

※両日とも同じ内容

【場所】

全国町村会館

東京都千代田区永田町1-11-35

【次第】

9:30～9:40開講挨拶

9:40～9:50オリエンテーション

9:50～11:55状況判断指示シミュレーション

11:55～12:00アンケート記入・閉講挨拶

3 研修内容

風水害をテーマに、研修指導員と「1対1」の個別面談方式で、災害の警戒段階から発災後に至る重要な局面を3つに分け、それぞれの局面における必要な対応や意思決定について、実践的なシミュレーションを行いました。

【研修カリキュラム】

- 警戒期
 - A 市町村の警戒体制の確立
 - B 避難勧告・指示等の判断と伝達
- 発災・初動対応期
 - C 大規模災害発生直後の対応
 - D マスコミ対応（報道発表シミュレーションを含む。）
- 避難生活期
 - E 避難所の設置・運営



写真：地図を確認して指示を行う様子
（左：市町村長、右：研修指導員）

4 受講された市町村長からの主な感想

- ・具体的なスケジュール設定や、ドラマのような場面展開、ロールプレイ式で、判断事項があるなど、参考になった。
- ・首長としての判断・指示のスピード感が必要であると感じた。
- ・避難指示等の判断が難しいので、いい経験になった。
- ・様々な情報から、総合的な判断をして最適な解を得ることの重要性が学べた。

5 おわりに

消防庁では今後とも、市町村長が、重要な局面で的確かつ迅速な判断・指示を行えるよう、市町村長の災害対応力の強化に係る研修等を実施していきます。

問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部防災課
TEL: 03-5253-7525